

研 究 主 題

勢いのある中部の体育 ～ はずむ心 豊かな学び 確かな力 ～

1 研究の仮説

- ◇ 友だち・教師・学習の場やルール・教具などとの関わり合いと学び合いを重視した学習を展開していけば、いろいろな動きや技能・知識を身につけ、体力の向上を目指すとともに、自ら学び、自ら考え解決する力を身につけた子どもを育成することができるであろう。
- ◇ 子どもの発達段階に応じて、身につけさせたい力を明確にし、運動の特性（動きのおもしろさ）にふれ、楽しさを味わう単元構成や学習過程の工夫を行うなど、指導法や評価を工夫・改善することで、「わかる喜び」「できる喜び」を感じられるであろう。

2 研究の視点

- ◇ 指導内容の明確化と体系化
 - ・系統性を踏まえた指導（年間指導計画の実施と見直し）
 - ・ねらいを明確にした指導（単元全体の指導内容と1単位時間毎の学習内容の明確化）
- ◇ 指導法の工夫と改善
 - ・運動の特性（動きのおもしろさ）にふれ、楽しさを味わう場の設定や教具の工夫
 - ・人、もの、こと、との豊かなかかわりを工夫した学習展開
 - ・「習得・活用・探究」型の授業の追究
 - ・「わかる喜び」「できる喜び」を味わうことができる支援の在り方（「資料提示」「示範」「助言・補助」「賞賛」「環境づくり」「発問の工夫」など）
 - ・ねらいを達成するための体育的言語活動の充実
- ◇ 学習評価の工夫（指導と評価の一体化）
 - ・体育ノート・学習カード等の効果的な活用
 - ・アンケートやふりかえりを活用した授業評価と授業改善

3 本年度の主な活動内容

- 4月15日 総会（役員改選、本年度の研究計画等）
- 6月10日 一斉研（授業研究会）
 - ・5年「はげしい動きの世界」（表現運動） 授業者 矢萩陽介（羽合小学校）
 - ・6年「病気の予防」（保健） 授業者 松本 真（東郷小学校）
- 8月 4日 夏季一斉研 ・実技研修会「タグラグビー」

講師 明倫小学校 江本大希教諭

 - ・グループ別研究協議
- 10月 7日 一斉研（授業研究会）
 - ・6年「オールイエローで限界突破！」（体づくり運動）

授業者 中前裕貴（成徳小学校）
 - ・4年「タグラグビー」（ボール運動） 授業者 磯尾和彦（小鴨小学校）
- 10月30日 第53回中四国小学校体育研究発表大会 愛媛大会参加（椿小学校）
- 2月10日 一斉研（本年度の取り組みのまとめ、28年度の研究の方向について）

○その他 研究成果刊行